

奈良県の環境の現況について (令和3年度、公害苦情)

- 令和3年度に県及び市町村で新規受理した公害に関する苦情件数は、959件で前年度より126件増加している。
- 新規直接受理した苦情の内容をみると、典型7公害に係る苦情は483件(50.4%)で前年度より1件減少しており、典型7公害以外の苦情は476件(49.6%)と127件増加している。
- 典型7公害のうち苦情件数が多いのは、大気汚染143件(14.9%)、水質汚濁122件(12.7%)、騒音111件(11.6%)、悪臭97件(10.1%)であり、上位4公害で典型7公害の97.9%を占めた。
- 典型7公害以外の主なものは、不法投棄217件などがある。

種類別苦情件数(新規直接受理)

典型7公害								典型7公害 以外	合計
大気汚染	水質汚濁	土壌汚染	騒音	振動	地盤沈下	悪臭	小計		
143	122	3	111	6	1	97	483	476	959
14.9%	12.7%	0.3%	11.6%	0.6%	0.1%	10.1%	50.4%	49.6%	100%
-12	-3	2	-1	4	1	8	-1	127	126

下から二段目は全件数に対する割合、最下段は前年度からの増減

上位4公害の発生源別苦情件数

水質汚濁	流出・漏洩	産業排水	自然系	家庭生活(その他)	左記以外	合計
	25	20	18	6	53	122
大気汚染	焼却(野焼き)	工事・建設作業	焼却(施設)	産業用機械作動	左記以外	合計
	100	15	14	2	12	143
騒音	工事・建設作業	産業用機械作動	カラオケ	家庭生活(ペット)	左記以外	合計
	58	23	6	4	20	111
悪臭	家庭生活(その他)	流出・漏洩	焼却(野焼き)	自然系	左記以外	合計
	37	6	5	5	44	97

